



# 近藤じゅん子通信 vol.24

## 区議会公明党の様々な提案が令和5年度予算に反映！

**がん患者への医療用ウィッグの助成を提案！  
補聴器助成の拡充を強く要望！**

**第1回定例会・区議会公明党の代表質問より**

令和5年2月22日(趣意)

### 学校建替事業

#### 未来の学校プロジェクトについて

**質問** これまで学校は地元地域の方々の力にも支えられ、各校の歴史が刻まれてきたと思います。そこで「未来の学校」には、地域に開かれた形で、今日まで各学校が歩んできた歴史を保存し、閲覧できる資料室の設置を提案します。

**答弁** (区長) 学校の歴史は、その地域の歴史でもあります。これまでの学校の歴史や記録を保存していくことは意義があり、必要であると認識しています。

保存や展示については、「未来の学校」にふさわしいデジタルアーカイブの技術を使った保存や展示も検討したいと考えています。例えば、解体してしまう旧校舎の3D画像や、高解像度サイネージによる色褪せないデジタル映像の保存など、最新技術を取り入れた方法を検討してまいります。



### 福祉

#### デジタルタビイド解消について

**質問** 我が会派が提案した「デジタルタビイド解消事業」もスマホの無償貸与とスマホ教室の事業からスタートし、昨年はデジタル活用支援員の拡充、また各地域にデジタル活用支援員の派遣、そして庁舎3階マイナビカードの申請窓口にも支援員の配置をしていただきました。

高齢者の方からは「支援員の方に丁寧に対応をいただき、安心しました。」と感謝の声もたくさん頂いています。今後デジタル活用支援員の活躍の場を拡大していただきたいと思います。

例えば「ハチペイ」など、今後も展開されるキャンペーンにもサポートしていただく等、様々なシーンで更なる活躍の場を検討していただきたいと思います。区長のご所見を伺います。

### 補聴器助成の拡充について

#### 質問

渋谷区では、聴力機能の低下に伴い円滑なコミュニケーションを図ることが難しい高齢者が、管理医療機器として認定された補聴器を購入した場合に補聴器の一部助成を行っています。対象については住民税非課税者だけでなく、所得制限なしの全員を対象に幅広い支援が必要だと思えます。

また高額なものも多いため、現在の35000円では十分な補助になっていないのが現状です。15000円増額し、50000円へ拡充を提案します。

**答弁** (区長) 更なる利用促進につながるよう、活用状況等の分析を進め、補聴器の効果や有用性と併せて周知を図りながら、対象者や補助額の見直しを含め検討してまいります。



### 健康

#### 医療用ウィッグの助成について

**質問** がん患者は治療の影響で、脱毛など、さまざまな外見の変化を体験しています。

外見が変化したことでも人からどう思われるか不安になることがあります。

がん治療の方がより良い療養生活が送れるよう、ウィッグ(かつら)や帽子の購入費用の助成を提案します。

**答弁** (区長) がん治療であっても自分らしく日常生活を送れるよう、外見の変化に対するケアの必要性は重要であり、その一環としてウィッグ等の助成は有効な手段と考えます。

他自治体の先行事例も参考に、本区での導入について検討を始めたいと思います。

### 生活

#### プレミアムデジタル商品券について

**質問** 長期にわたり物価高騰が続く中、今後、第二弾のプレミアムデジタル商品券の発行を期待します。ご所見を伺います。

**答弁** (区長) 現在実施している「ハチペイ」のキャンペーンの効果も踏まえ、今後検討していきませんが、毎日のお買い物で

にご利用いただけるポイント還元  
の継続に加え、11月には、ハチ  
公生誕100年事業とハチペイ  
1周年になりますので、期間限  
定のキャンペーンを企画して区  
内の消費を促進していきたいと  
考えています。

# 防 災

## 学校建て替え期間の避難所について

**質問** 建て替え期間の仮設校舎は青山病院跡地等、これまでの地域から離れた場所に仮設校舎が設置される予定です。

避難所の設置には、地域密着の施設の確保が必要です。地域の皆様も大変心配されていることだと思います。

そこで学校建て替えロードマップと併せて避難所を明確化していただきたいと思います。

**答弁** (区長) 建て替えとなる学校の代替避難所の確保については、更に具体的な検討を進め、今後、建て替えのロードマップに示された学校毎に建て替え期間中の代替の避難所を明確にし、地域の皆様に周知を図ってまいります。



# 令和5年度予算に公明党の提案が、盛り込まれました！

—— 数々の実績の中から、その一部をご紹介します ——

## 带状疱疹ワクチンの助成が始まります！

年々増加傾向にある带状疱疹。治療に数カ月から数年を要する場合があります。情緒や身体的機能に影響を及ぼし、日常生活に支障をきたすことがあるため、带状疱疹ワクチンの助成を開始します。

接種ワクチン	接種回数	助成金額
生ワクチン	1回	4,000円
不活化ワクチン	2回	20,000円 (1回あたり10,000円)



## 不妊症・不育症ピアサポートがスタート！

渋谷区は令和4年度に不妊治療を受けた夫婦への経済的支援を開始。

本年は、精神的支援としてピアサポートを実施します。悩みや疑問をピアサポーターへ気軽に相談できる体制を整備して、同じ立ち場や悩みを持つ人同士が支え合うことのできる地域のつながりを構築します。



## 渋谷区安全・安心パトロールが始まります！

渋谷区は、刑法犯認知件数が23区の中でも多い件数となっています。また、ゴミの放置や騒音、客引き、落書き、特殊詐欺などの問題も生じております。そこで、青色防犯灯付きパトロール車と徒歩によるパトロールを行い、児童の登下校時の安全確保や犯罪の抑止、各種迷惑行為の防止を図り、治安の向上と、区民の安全・安心の確保を推進します。



※写真はイメージです

## 断らない相談支援を始めます！

社会的に孤立し、自分だけでは乗り越えられない生活課題を抱えている人に向けて、渋谷区では令和5年度より重層的支援体制整備事業を実施し、生活課題を抱える人・世帯に対し、生きづらさを少しでも軽くできるよう、ともに考える支援体制を推進します。



## 特別な支援が必要な児童への支援拡充！

多様化・複雑化する子どもや家族の課題に対する支援体制を強化し、一人ひとりの発達の状態に応じた専門的支援を行います。具体的には、障がい児支援の施設として「児童発達支援センター」を設置します。また、通所指導が困難な子どもにも対応する「保育所等訪問支援」を導入し、子ども一人ひとりの発達状態に応じた支援をアウトリーチで行っていきます。



## ふれあい植物センターをリニューアル！

ふれあい植物センターが、本年夏、リニューアルオープンします。「農と食の地域拠点」として、野菜などの栽培指導や、農や食に関する学習、食の循環サイクルなどが学べます。また、「地域コミュニティ」として、みどりのボランティア育成・活動支援、地産地消ワークショップなどで周辺地域と連携する、新しい都会のオアシスとして蘇ります。



ひとり一人を大切に、皆様の声を区政に活かします。

—— 区政に対するご要望、お困りごと、お気軽にご相談ください ——

渋谷区議会議員 近藤じゅん子

- 区民環境委員会
- 多様性社会推進特別委員会委員長

渋谷区議会公明党控室  
TEL. 03-3463-1036 FAX. 03-5458-4962  
携帯 090-2221-7507  
近藤じゅん子のブログ  
<http://ameblo.jp/kondo-junkon>



ホームページ



アメブロ



Twitter



Facebook